

## 平成26年度第3回理事会議事概要

日 時： 平成26年6月5日（木） 15：30～16：00

場 所： 特別会議室

出席者： 理事長	鈴木 和夫
理事（企画・総務担当）	鈴木 信哉
理事（研究担当）	大河内 勇
理事（育種事業・森林バイオ担当）	井上 達也
理事（森林業務担当）	城土 裕
理事（業務承継円滑化・適正化担当）	百々 謙治郎
監事	滑志田 隆
監事	西田 篤實
総括審議役	肥後 賢輔
総括審議役	富澤多美男
審議役	安樂 勝彦
企画部長	落合 博貴
総務部長	飯干 好徳

## 1. 開会

## 2. 議事

本日は報告が2件（(1)、(2)）となっております。順次、説明をお願いします。

### (1) 平成26年度10月期研究職員の採用について

(企画部長)

資料1をご覧ください。現時点で10数名の採用を検討しています。また、採用区分(パーマネント、任期付きなど)についても検討中です。

採用に当たっては、国際的な人材が求められていることを踏まえて、国際的な経験を重視したいと考えています。

募集開始は、昨年より若干遅いのですが今月中に行えるよう準備を進めています。

合わせて、平成27年4月採用のテニュアトラック制度による採用についても、若干名を考えており、現在検討中ですので申し添えます。

### (2) 特定中山間保全整備事業邑智西部区域の实地監査について

(滑志田監事)

6月3、4の両日、昨年8月の集中豪雨災害の影響のために延期していた特定中山間保全整備事業邑智西部区域の实地監査を行いました。農林業用道路(9km)の本体工事をはじめとして、総事業費127億3千万円余を投じた公共事業の環境対策、災害復旧、橋梁工事、事業完了に伴う広報等全般について監査しました。

監査の結果、整備した道路の農畜産物の運搬等への活用、天然記念物オオサンショウウオの生息地への配慮、コンクリート製擬木仕様の事業概要看板の設置状況など、邑智西部区域を対象とする公共事業は所期の目的を達して終了したものと評価しました。

これにより、平成20年度に当研究所が旧緑資源機構から業務承継した緑資源幹線林道、農用地総合整備、特定中山間保全整備の3事業は名実ともに終了し、今後は水源林整備事業のみを残すことになります。引き続き公共事業執行業務の適正な実施という使命を着実に果たすべく監査業務に当たりたく思います。

### (3) その他

(鈴木理事)

通則法第38条に基づき、財務諸表、事業報告書及び決算報告書を、事業終了後3ヶ月以内に主務大臣に提出することとなっています。

これらの書類を作成した上で、監事の意見書を添付して今月末までに大臣に提出したいと考えていますが、本日の理事会にはお諮りできませんので、持ち回り決裁をいただきたいと思います。

次回理事会でその結果をご報告させていただきますので申し添えます。

(肥後)

これにて終了します。

次回の平成26年度第4回理事会は7月10日(木)に開催予定です。

### 3. 閉会